

# 知っていますか、障がいのこと

## ○12月3日から9日は「障害者週間」です

障害者週間は、国民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会・経済・文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として設けられました。

この週間を中心に、国、地方公共団体等ではさまざまな意識啓発の取り組みを展開しています。

今回は、さまざまな障がいについて紹介します。

## ○障がい、障がい者とは

精神や身体の器官が、先天的、あるいは病気やけが等の原因で、その機能を果たさないこと、または、その状態を障がいと言い、その障がいにより、長期にわたり、日常生活や社会生活に相当な制限を受ける者を障がい者と言います。

障がいは大別すると身体障がい、知的障がい、精神障がいに分けられています。



### 聴覚障がい

聞こえ方に障がいがあり、全く聞こえないか、聞こえにくいこと。補聴器をすれば聞こえる人、全く聞こえない人、聞こえ方は人それぞれです。外見からは分かりづらい障がいです。

### 視覚障がい

見え方に障がいがあること。全く見えない人、目を近づけたり、ルーペを使ったりすれば見える人、見える範囲が狭い人、明るい（または暗い）場所では見えにくくなる人、色を感じられない人など、その障がいはさまざまです。

### 肢体不自由障がい

肢体または運動機能に障がいがあること。上半身、下半身、体幹と言った部位で区別されています。下半身や体幹に障がいがある場合は、杖や車いすを使っていることもあります。

### 内部障がい

心臓、腎臓、膀胱・直腸、呼吸器、小腸、免疫、肝臓の機能に障がいがあること。一見して障がいがあるように見えず、そのため理解されにくい障がいです。しかし、内部障がいがある多くの人は日常生活が制限されています。

### 知的障がい

知能を中心とした発達の遅れが幼少期（おおむね18歳未満）から見られること。ただし、けがや病気、加齢などが原因で18歳以降に知的機能が低下した場合は該当しません。

### 精神障がい

統合失調症などの精神疾患の中でも、投薬その他の治療によっても治癒しないという観点から、障がいとされています。

### 発達障がい

発達期に脳に機能的な問題が起きたために、発達の領域に、困難が生じること。知的障がいを伴う人もいれば、大学などの高等教育を受けて社会で活躍している人もいます。早期に障がいを発見し、適切な療育・教育を行えば、支障なく生活できる可能性が高い障がいでもあります。

### 高次脳機能障がい

大脳の運動や感覚以外の機能（言語・行為・記憶・遂行機能などの認知に関する機能）を高次脳機能と言い、事故や病気で脳が傷ついたために高次脳機能に起こる障がいのこと。大脳のどの部分が損傷しているかによって、障がいとなる症状は一人ひとり違ってきます。

◆問い合わせ先 福祉課 福祉担当 ☎②6573 有線⑥7772